

ここからはじめる国際法

—事例から考える国際社会と日本の関わり

佐藤義明 = 石垣友明 = 小林友彦 = 坂巻静佳

担当編集から

ニュースを見ていて、また歴史を学んでいて、国同士が約束をしたりトラブルになった例に出会ったときに「これって法的にどういうことだろう？」と考えたことはありませんか？

世界には多くの国（この数え方も国によって違います！）がありますが、国際社会では警察が治安維持してくれることも、執行官が判決内容を強制的に実現してくれることもありません。なにしろ、すべての国が必ず従わなければならない条約もないのです。

では、国同士が相手を信頼して関係を結んだり、トラブルを解決できるのはなぜでしょうか。それは国際法があるからです。

本書は、各章の冒頭で最新のニュースや写真・図表を示し、そこから国際法が自分の住む社会と具体的にどう関係しているのかを意識して、正確に学べるように書かれています。また、約250ページととてもコンパクトに国際法の全体像を見通せるのも大きな魅力です。索引も充実していますので、知っている言葉をきっかけに読み始めても面白く読めると思います。

ぜひ本書をきっかけに、『国際条約集』も携えて、国際法の奥深い世界に足を踏み入れてみてください。(W)

Point

「国際法の学び方」に目を通したらリファーマも活用して興味のある章から読んでみてください。

国際法の学び方

第1章 国際法のダイナミズム

—国際法はなぜ必要か？

第2章 国家とその基本的権利と義務

—北朝鮮を国家として認めないことは国際法上許されるのか？

第3章 国際法の法源

—安保理決議・G7声明・国連特別報告者の意見書は国際法なのか？

第4章 外交と国際法

—なぜ大使館は抗議と攻撃的となるのか？

第5章 国際義務の履行確保

—PM_{2.5}による越境大気汚染

第6章 国際紛争処理

—中国と南シナ海

第7章 国際法と国内法の関係

—国際法と国内法間のダイナミックな相互関係

第8章 領土と国際法

—領土紛争か侵略か？

第9章 海洋法

—海で魚介類を自由に採ることはできるのか？

第10章 空と宇宙の国際法

—国際航空や宇宙活動はどのように規律されているか？

第11章 国際経済法

—グローバル化と国際貿易ルール

第12章 国際環境法

—気候変動と環境被害が私たちの生活に与える影響

第13章 国際人権・難民法

—身近な問題としての人権・難民問題

第14章 安全保障

—現代における戦争違法化と安全保障の意味

第15章 軍縮・軍備管理・不拡散

—北朝鮮によるミサイル発射

第16章 武力紛争法

—武力紛争の多空間化

主要な略称一覧／条約・決議索引
／判例等索引／事項索引



レベル — 用途 — 対象 —
初級 学習 教養 学部

2022年11月発売／254頁／定価2200円(税込)
四六判／並製



詳細は、小社ウェブサイトの本書のページをご覧ください。